

普及現地情報

発信年月日：平成 26 年(2014 年)6 月 13 日

所 属 名：甲賀農産普及課

番 号：C14002

部門分類：150(野菜)

発信者名：宇野、田中

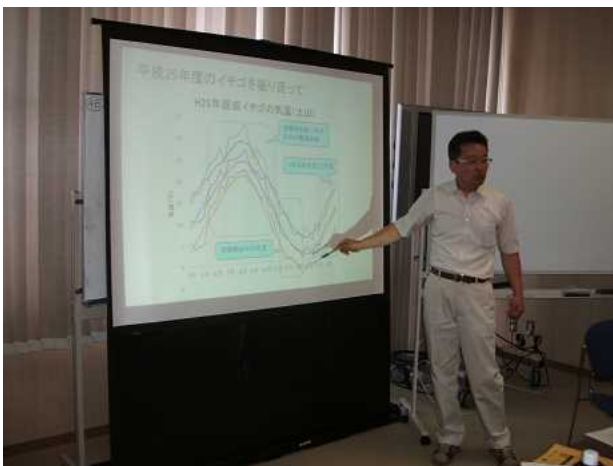
少量土壌培地耕イチゴ栽培研修会を開催

甲賀管内では、現在 14 戸(経営体)で 15,890 m²の少量土壌培地耕によるイチゴが栽培されています。昨年度は仮親株床や本ぽで炭疽病等の被害が多発し、経営に大きな影響を与えたことから、その対策と 6 月より始まる仮親株床の管理について指導するため、6 月 2 日に甲賀合同庁舎会議室にて集合研修会を開催しました。

研修会では、「我流になっている栽培を見直したい」というベテラン農家と「基本的な栽培技術を学びたい」という新規栽培者の 7 戸(経営体)から 10 名の参加があり、活発な情報交換が行われました。

特に、病害発生の一要因として仮親株床の子苗の混みすぎを当課から指摘したところ、農家にとっては、定植苗の不足を懸念するあまり予備苗を多く見込んだため、小苗が混みすぎ結果的に苗床が蒸れた環境になり農薬が付着しにくい状況を作っていたということに気付いて頂くことができました。

今後、現地巡回を通じて健苗育成に向けた支援を継続し、定植を控えた 9 月上旬には「本ぽの適正管理」をテーマに研修会を開催する予定です。



【研修会で説明する普及指導員】

病害発生を助長した気象の特徴や栽培管理についてスライドで説明。



【研修会の様子】

参加者はお互いの栽培方法について情報交換し基本技術を確認。